

個別活動 モンテッソーリ活動

大好きお仕事

ニドのモンテッソーリ活動



フック

栗の木に栗の実をひっかけます。ループとフックを真剣な顔でよく観察…、ひょいっ、と上手にかかると嬉しそうに笑顔を見せてくれます。



衣類をしまう

自分の身の周りのことにも少しずつ意欲が芽生えてくる時期です。着替えた服を袋にしまうことにも挑戦し始めました。

I Cのモンテッソーリ活動



着衣枠(ボタン)：

左右に開いた布の中央にある、ボタンを外し再び貼り合わせます。その独特の感覚にも惹かれて繰り返し行う姿があります。



はさむ：

洗濯ばさみを使い、型紙につけて外すを繰り返します。目と手の協応の発達を促します

プライマリーのモンテッソーリ

このところ赤バッチさんが取り組んでいるお仕事に「なぞり文字」があります。手順は、一画の文字から、例えば「し」の砂文字（サンドペーパーが板にはってある）を棚から持ってきて、指先で「止まる・はらう・はねる」の感触を感じながらなぞります。次に筆順が色で示されたお手本を下敷きに、トレーシングペーパーに透かし、フェルトペンでなぞります。ゆっくりと丁寧に、書き進むと、なかなかの出来栄えの文字が現れます。本人も「うん、出来た」と満足顔です。

ところで、この「書く」為の手の準備はいつ頃から始まるのでしょうか？
実はストロー通しなどの細やかな指先のお仕事、お水のお仕事でバケツを拭くしなやかな手首、道具の乗ったお盆の持ち運びで鍛えられる両腕と、すでに日々少しずつお仕事を積み重ね、ゆっくりと蓄えられたものなのです。今どきのタッチパネルをスワイプすることでは得られない繊細な加減と手応えを、味わい、身に付けてほしいものです。

思い通りに良く動く手を持つことで、子ども達は意思を叶え、自信へと繋げています。

なぞり文字 (言語)

